

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 6 日

事務事業名		参議院議員通常選挙執行事務				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	099809000752	
						単独/補助	補助	所属課	020101	
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	総務課	
総合計画の施策名		0998 選挙関係						グループ	総務グループ	
政策名		09 政策外事業						担当者名		
施策名		98 選挙関係								
手段名		09 選挙関係								
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	04	02	01	00	参議院議員通常選挙事業			
法令根拠	公職選挙法						単年度のみ ( 年度 )			
								期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>参議院議員通常選挙の執行事務。 参議院議員は3年ごとに半数が改選される。定数は248人(選挙区148人、比例100人)。茨城県選挙区は定数4名。選挙期日は令和4年7月10日(任期:令和10年7月25日)、前は令和元年7月21日(任期:令和7年7月28日)</p> <p>&lt;令和4年7月10日投票状況&gt;          当日有権者数 : 男16,926人 女17,332人 計34,258人          当日投票者数 : 男3,852人 女3,335人 計7,187人          期日前投票者数: 男3,993人 女4,321人 計8,314人          不在者投票者数: 男63人 女77人 計140人          投票率 : 男46.72% 女44.61% 計45.65%</p>	<p>担当者が行う主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選挙執行計画の決定</li> <li>委託事務等 (ポスター掲示場の設置等)</li> <li>選挙事務関係者の委嘱、選任</li> <li>選挙人名簿の登録、作成</li> <li>選挙事務説明会の開催</li> <li>関係機関との調整</li> <li>選挙公報の配布</li> <li>期日前投票、郵便、不在者投票事務、当日投開票事務</li> <li>個人演説会の届出受付</li> <li>結果報告、各支払事務</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
ポスター掲示場の設置 選挙人名簿の登録 期日前投票の設置 投票所の設置	ポスター掲示場数	箇所	0.00	171.00	0.00	0.00	171.00
	期日前投票所数	箇所	0.00	3.00	0.00	0.00	3.00
	投票所数	箇所	0.00	20.00	0.00	0.00	20.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
日本国民で満18歳以上のもので引き続き3ヵ月以上桜川市の区域内に住所を有する者。 (選挙時登録にて選挙人名簿に登録されている者)	有権者数 (3月1日現在)	人	0.00	33,850.00	0.00	0.00	32,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
選挙事務を正確・迅速に行い、公正な選挙を行えるようにする。	投票率	%	0.00	45.65	0.00	0.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	23,066	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	2,384	0			
	事業費計 (A)	千円	0	25,450	0			
正規職員従事人数	人	0.00人	9.00人	0.00人				

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	2,446				
03 職員手当等	7,447					
07 報償費	199					
10 需用費	1,307					
11 役務費	1,610					
12 委託料	6,612					
13 使用料及び賃借料	469					
17 備品購入費	5,360					
	合計	25,450			合計	0

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙執行計画の決定</li> <li>委託事務等 (ポスター掲示場の設置等)</li> <li>選挙事務関係者の委嘱、選任</li> <li>選挙人名簿の登録、作成 等</li> </ul>

事務事業名	参議院議員通常選挙執行事務	事務事業No.	99809000752	所属課	総務課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 法令で定められた事務事業である。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特に意見要望はない。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 選挙関係については、政策体系外の業務であるが、適正な選挙執行管理事務を行うことにより、公正な選挙が行われる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 法令で定められた事務事業であり、委ねることはできない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 法令で定められた事業であり、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法令で定められた事業であり、廃止・休止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の経費で選挙を執行しており、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 有権者に保障された権利であり、受益者負担を求めることは不適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和4年度に執行した選挙の投票率は、前回選挙と比較し横ばいであった。今後は投票率向上のため、継続的な啓発活動が必要である。次回選挙は、令和7年度（令和7年7月28日任期満了）執行予定。																		
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持				低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持																			
	低下																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> -																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>